# **United States District Court Central District of California**

UNITED STATES OF AMERICA vs.		Docket No.	CR 11-00922 (A) DDP (10)						
<b>Defendar</b> akas: Hovha	<b>1t</b> <u>EDGAR HOVA</u> nnisyan, Edgar	NNISYAN	Social Security No. (Last 4 digits)	<u>6</u> 7	<u>3</u> <u>4</u>				
JUDGMENT AND PROBATION/COMMITMENT ORDER									
In the	presence of the attorney	for the government, the de	efendant appeared in	n person	MONTH Feb.	DAY 19	YEAR 2015		
COUNSEL	Raffi J. Manuelian and Michael H. Artan, retained.								
			(Name of Co	ounsel)					
PLEA	<b>GUILTY</b> , and the co the plea.	urt being satisfied that the	re is a factual basis f		NOLO ONTENDER	E NO	OT GUILTY		
FINDING	There being a finding/verdict   <b>GUILTY</b> , defendant has been convicted as charged of the offense(s) of: of								
	21 U.S.C. § 846, 21 U.S.C. 841(b)(1)( C ): Conspiracy to distribute controlled substances as charged in Count One of the First Superseding Indictment.								
JUDGMENT AND PROB/ COMM ORDER	cause to the contrary wa convicted and ordered t	er there was any reason was shown, or appeared to the hat: Pursuant to the Senter mmitted to the custody of t	e Court, the Court ad ncing Reform Act of	djudged the 1984, it is	e defendant the judgmen	guilty as c t of the Co	charged and ourt that the		

Pursuant to the Sentencing Reform Act of 1984, it is the judgment of the Court that the defendant, Edgar Hovannisyan, is hereby committed on Count One of the First Superseding Indictment to the custody of the Bureau of Prisons for a term of 72 months, to be served concurrently with the term of imprisonment imposed in case CR11-01075-SJO (7).

Upon release from imprisonment, the defendant shall be placed on supervised release for a term of three years under the following terms and conditions:

- 1. The defendant shall comply with the rules and regulations of the United States Probation Office and General Order 05-02.
- 2. The defendant shall not commit any violation of local, state, or federal law or ordinance.
- 3. The defendant shall refrain from any unlawful use of a controlled substance. The defendant shall submit to one drug test within 15 days of release from imprisonment and at least two periodic drug tests thereafter, not to exceed eight tests per month, as directed by the Probation Officer.
- 4. The defendant shall participate in an outpatient substance abuse treatment and counseling program that includes urinalysis, breath and/or sweat patch testing, as directed by the Probation Officer. The defendant shall abstain from using alcohol and illicit drugs, and from abusing prescription medications during the period of supervision.

decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

## ⑩ 公開特許公報(A) 平3-181934

きょう なせんしゃきゅうぎょう

®Int. Cl. 5 G 03 B 21/62 識別記号

庁内整理番号

@公開 平成3年(1991)8月7日

7709-2H

審査請求 未請求 請求項の数 9. (全7頁)

图 1. 总接受力 4 P

12.5. %

透過形スクリーンとその製造方法

類 平1-321722

22出 類 平1(1989)12月12日

東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号 大日本印刷株式

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号

24

※ 処理を施してあることを特徴とする請求項(1)~(3)

: 記載の透過形スクリーン。

うべけ 1.発明の名称と こりのがっこ \* 透過形スクリーンとその製造方法

・ 、材の光源側に設けられ光源光をそのベース部材の・・・・クリーン。

光の非透過部分に設けられ光吸収性のある光吸収

部と、前記ペース部材の観察側であって前記レン ことする鯖求項(1)~(5)記載の透過形スクリーン。

(2) 前記ペース部材は、電離放射線透過性のある こって前記レンズ部の光の非透過部分に光吸収性の

フィルムであることを特徴とする請求項(1)記載の ある光吸収部を形成する光吸収部形成工程と、前

透過形スクリーン。

成したことを特徴とする請求項(1)または(2)記載の

(4) 前記ベース部材は、光源光を拡散する光拡散

. ス部材より光の屈折率が小さい低屈折層を形成し

(1)・光透過性のあるベース部材と、前記ベース部・・・・たことを特徴とする請求項(1)~(4)記数の透過形ス

観察側に集光する複数の光輝側レンズ郎と、前記 (G) \*\* 前記光弧側レンズ部、前記光吸収部または前

盤放射線硬化形樹脂を用いて成形したことを特徴

ズ部の非透過部分に対応する位置に設けられた店 (7):光源光を集光し拡散させて出射させる複数の

・・・リーン。それもりによなって油、トー・・・・・・・・・・・・・・・おいて、7光透過性のあるペース部材の光源側であ

(3) 前記各遮光部の間には、観察側レンズ部を形 間に前記レンズ部を形成するレンズ部形成工程と から構成したことを特徴とする透過形スクリーン

の製造方法。

(8) 前記ペース部材の観察側表面であって前記レ

ンズ部の光の非透過部分に対応する位置に遮光部 を形成する遮光部形成工程を付加したことを特徴 とする請求項の記載の透過形スクリーンの製造方 A 4. A

(9) 前記ペース部材は、電離放射線透過性のある ・フィルムであることを特徴とする請求項切または (8)記載の透過形スクリーンの製造方法。

#### 3.発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、背面投写式のプロジェクタ等に用い、 られる透過形スクリーンおよびその製造方法に関 するものである.

#### (従来の技術)

背面から入射する光源光を透過して、正面で映 像として観察する透過形スクリーンでは、視野角 を広くするために、レンチキュラーレンズシート を含むものが多い。ここで、レンチキュラーレン ズシートとは、半円柱状のレンズ部が複数本平行 に形成されたものであって、光源光を集光した後 に、水平または垂直方向に拡散させながら出射さ

- 3 -

しかし、前述の提案では、各レンズ部8A.8 B…が、各光吸収層9A、9B…により分断され こ ているか、あるいはレンズの谷邸81の一点で接 しているのみであり、他に支持体を有しない構成 なので、スクリーンの機械的強度が弱いという間 題点があった。このため、レンチキュラーレンズ シートを、フレネルピンズシート等他のレンズシ ートと組み合わせたときに、密着性を向上させる ためのソリ加工を施すことが難じかった。

- 一方、前述しだ透過形スクリーンを製造する場 合には、つぎのような問題点があった。

光吸収度 9 を形成する際には、いわゆるリフト。 ・オフ法(レンズ部8の集光面8aにマスキングを・・・は ベース部材の観察側に集光する複数の光源側レン 飾して、その上から印刷を行ってからマスキングツップで、太郎とい前記ペース部材の光源側であって前記レ ・を剝がすか、あるいは溶解除去する方法)や、ワ イピング法(レンズの谷部81に光吸収性のある インキを堕布した後に、余分なインキを拭きとる。 , 方法) を用いていたが、いずれも工程が複雑であ り、レンズ部成形からの連続的な製造が困難であ

せるものをいう。

しかし、レンチキュラーレンズシートは、【つ のレンズ郎に入射した光源光が出射するときに、 光源光の一部が出光面の内側で反射することがあ る。この反射光は、そのレンズ部の内部で何回も 反射したり、隣接する他のレンズ部に入射したり して、いわゆるプレアが生ずるという問題がある。

また、レンチキュラーレンズシートは、通常、 最も観察側に配置するので、各レンズ部に外光が 入射しやすい。入射した外光は、光源光の入光面 の内側で反射して再び出射することがあり、この 場合には、スクリーンのコントラストが低下する という問題がある。

このような問題を解決するために、例えば、実 開昭 5 5 - 1 3 8 6 3 2 号「投写形受像装置」で は、第6図に示すように、「レンティキュラ板 (8) の各点点 (F) 間に周囲光を吸収する光吸 収滑 (9)を観察面側に露出させた」旨の提案が なされている。

[発明が解決しようとする課題]

- 4 -

また、インキを均一に塗布することが難しいの で、ムラが生じやすくスクリーン全体の外観の見 むえを暮しく提なっていた。

本発明の目的は、前述した課題を解決して、フ レアを抑え、コントラストが高くなるとともに機 械的強度が強く、外観の見栄えを損なうことのな い、しかも連続生産に適した透過形スクリーンお よびその製造方法を提供することである。

・・・(課題を解決するための手段)

\*前記課題を解決するために、本発明による透過 形スクリーンは、光透過性のあるペース部材と、 前記ペース部材の光確例に設けられ光輝光をその ンズ部の光源光の非透過部分に設けられ光吸収性 :・・・のある光吸収部と、前記ペース部材の観察側であ 。って前記レンズ郎の非透過部分に対応する位置に 設けられた遮光部とから構成してある。

・。 前記ペース部材は、電離放射線透過性のあるフ ....イルムであってもよい。

前記各遮光郎の間には、観察側レンズ部を形成 してもよい。

前記ベース部材は、光源光を拡散する光拡散処理を施してもよい。

前記ベース部材の観察倒安面には、そのベース 部材より光の屈折率が小さい低屈折層を形成して もよい。

前記光源例レンズ部、前記光吸収部または前記 観察側レンズ部のうちで、少なくとも1つは電艇 放射線硬化形掛脂を用いて成形してもよい。

また、本発明による透過形スクリーンの製造方法は、光源光を集光し拡散させて出射させる複数のレンズ部を有する透過形スクリーンの製造方法において、光透過性のあるベース部材の光源側であって前記レンズ部の光の非透過部分に光吸収性のある光吸収部を形成する光吸収部形成工程と、前記ベース部材の光源側であって前記各光吸収部の間に前記レンズ部を形成するレンズ部形成工程とから構成してある。

このとき、前記ベース部材の観察側表面であっ

- 7 -

ンズ郎 2 の集光面 1 a とが一致するようにしてある。

ベースフィルム 1 の材質としては、透明性があり、電子線(EB)や紫外線(UV) 等の電離放射線透過性のある合成樹脂を用いることができる。例えば、ポリエステル。ナイロン、アクリル、ポリオレフィン、ボリ塩化ビニル。ポリカーボネート、ポリスチレン等があげられる。なお、ベースフィルム 1 の表面には、レンズ部 2 を接着しやすくするためのプライマ層を形成するようにしてもよい。

レンズ部2は、ベースフィルム1の光源側に複数本平行に設けられており、各レンズ部2A, 2B…が光源光を集光および拡散させる。

レンズ部 2 は、電離放射線硬化形樹脂を用いて 成形することができ、例えば、アクリル、ウレタ ンアクリレート、エポキンアクリレート、ポリア ミドアクリレート、ポリエステルアクリレート等 があげられる。

. 光吸収部3は、各レンズ部2A.2B…の間に

て前記レンス部の光の非透過部分に対応する位置 に遮光部を形成する遮光部形成工程を付加しても よい。

前記ペース郎材は、電離放射線透過性のあるフィルムであってもよい。

#### (実施例)

以下、図面等を参照して、実施例につき、本発明を幹細に説明する。

第1図は、木発明による透過形スクリーンの第 1の実施例の…部を抜き出して示した断面図である。

第1の実施例では、ベースフィルム1の光線側に、レンチキュラーレンズであるレンズ部2を複数平行に股けてあり、各レンズ部2A、2B…の間であって、光源光の非透過部分に光吸収部3を設けてある。ベースフィルム1の観察側には、各光吸収部3A、3Bに対応する位置に遮光部4が設けられている。

ベースフィルムlは、スクリーンの益材であり、 この厚さは、ベースフィルムlの観察側表面とレ

- 8 -

設けられ、観察側に向かって幅広になるくさび形にしてある。くさび形にしたのは、光源光の非透 通部分に対応させたものであって、途光やフレア をより有効に抑えることができる。光吸収部3は、ホットノルト系の合成樹脂や電離放射線硬化形樹脂に、公知の光吸収剤を含有させればよい。

遮光部4は、ベースフィルム1の観察側であって、光源光の非集光面1bに設けられている。この遮光部4は、外光反射を抑えて画面のコントラストを向上させるものであり、黒色の顔料等を分散したインキ等をベースフィルム1に印刷すれば

本発明による透過形スクリーンは、このように 構成したので、遮光部3により迷光やフレアを抑 えることができるとともに、スクリーン自体の機 被的強度の向上を図ることができる。

第2図は、本発明による透過形スクリーンの第 2の実施例の一部を抜き出して示した断面図であ

第2の実施例のベースフィルム1, レンズ部2,

- 1 0 --

### Case 2:11-cr-00922-FMO Document 947 Filed 02/19/15 Page 6 of 6 Page ID #:8691

USA vs. EDGAR HOVANNISYAN	Docket No.:	CR 11-00922 (A) DDP (10)		
Filed Date	Deputy Clerk			
FOI	R U.S. PROBATION OFFICE USE ONLY			
pon a finding of violation of probation or supene term of supervision, and/or (3) modify the contractions	rvised release, I understand that the court conditions of supervision.	may (1) revoke supervision, (2) extend		
These conditions have been read to m	e. I fully understand the conditions and ha	ave been provided a copy of them.		
(Signed) Defendant	 Date			
U. S. Probation Officer/Design	ated Witness Date			